

緑のふるさと協力隊 活動レポート

◆ Oh!喜多の国から 2004夏編 ◆
地球緑化センター緑のふるさと協力隊員 大喜多弘隆

緑のふるさと協力隊とは？

一年間地域に住み、生活し、様々な活動を通じて地域振興や都市と農村地域の交流を目的としたボランティアで、全国の市町村に派遣されています。現在(平成16年度)、33市町村46名の隊員が全国で活動しており、静岡県では伊豆市のみが隊員を受け入れています。(旧中伊豆町の

皆さん、ごぶさたしております。緑のふるさと協力隊の大喜多です。早いもので、伊豆市にやってきて4か月がたとうとしています。伊豆市民の皆さんに「緑のふるさと協力隊」のことや活動を知っていただきたいと思い、協力隊の事業の簡単な説明と4月から8月までの活動報告をします。



大喜多弘隆(27) 大阪府出身
今年4月に協力隊として派遣され、北海道から中伊豆に在住し、元気いっぱい活動中!

時から受け入れは今年で4回目)派遣期間中、2回の報告会(東京)と広報誌(ふるさと通信)の発行があり伊豆市での活動や体験を全国の多くの人々に発信しています。簡単に言うと、青年海外協力隊の国内版といったところです。地域のイベントや活動の情報がありましたら、どうぞご連絡ください!
(参照 <http://www.kk.iij4u.or.jp/gec/>)

4月

伊豆にやってきました。ここには、故郷の大阪や今まで暮らしていた北海道とは違い山がたくさんあります。驚いたことに他のどこよりも水が清らかで緑が美しいです。伊豆での住まいとなる教員住宅の隣の橘保育園には大きなケヤキの木があり、近くに温泉もあります。どうやらここが気に入りそうです。



▲小川地区にある橘保育園の園庭にある大きなケヤキの木



▲原保地区にある原保温泉の販売機
コーヒーを買うついでに温泉でもいかがでしょうか?初めて見たときはびっくり!

5月

田んぼです。中伊豆の棚田は景色が素晴らしい!東京の小学生が田植え体験に伊豆(菅引)にやってきました。グリーン・ツーリズム推進委員会の方々に田植えを教わり、あぜ塗り・しろかきをして、泥まみれになりながら稲を植えました。秋の収穫が楽しみです。



▲5月8日、世田谷区のと光小学校の5年生たちと泥まみれになりながらの田植え体験

6月19日、浜名湖花博にて川津町のミス伊豆の踊り子さんと伊豆市観光キャンペーンに同行▼





▲森林ボランティア「ウィークデー in 中伊豆」と萬城の滝周辺整備検討委員会と一緒に！



▲7月18日、中伊豆萬城の滝キャンプ場周辺森林で小学生が林間学校で間伐を体験

中伊豆荘にて、キャンプファイヤーに参加。夕焼けの富士山がとても幻想的でした▶

「山と緑の協力隊」森林ボランティアから
京や神奈川の都市部から
辺森林に、東
プ場とその周
城の滝キャン
ています。萬



7月

暑いです。夏も本番になり、山の緑もますます生き生きしています。萬

6月 梅雨です。大豆生産組合の方々に教わりながら、稲の休耕田に大豆を植えました。草を刈り、石灰や堆肥を撒き、耕耘機を操作して土を耕し、種を蒔きました。今年の梅雨は雨が少なかったようですが、大豆の生育には雨が少ない方が良いでしょう。秋には大豊作が期待できそう、楽しみです。



▲8月8日、萬城の滝祭りに参加
萬城の女コンテストなどイベント盛り沢山で楽しい一日でした

◀8月2日、修善寺夏祭り手筒花火の警備に参加
花火師が火の粉をかぶる迫力に圧倒されました

ランテアや、都会の小学生が林間学校にやって来ました。皆さんたくさん伊豆の緑と触れ合い、大満足のようでした。



協力隊からのお知らせ
森林で汗を流しませんか？

9月23日(祝)と24日(金)に第40回ウィークデー「山と緑の協力隊」in中伊豆が行われます。(毎月一回中伊豆地区の森林で下草刈りや間伐等の森林作業を行う森林ボランティアです)

詳しくは

伊豆市役所 中伊豆支所 事業課 緑のふるさとの協力隊
の大喜多までご連絡ください。

電話(83)5482/FAX(83)2484

8月

まつり。お祭り。夏祭りです。修善寺夏祭りや中伊豆の萬城の滝祭りに参加。伊豆のお祭りは8月の第一週目に集中して街中が活気づいています。夏のお祭りを通して伊豆市の地域特有の風土や伝統が感じることができました。人々の活動、地域の特産や文化をたくさん知ることができてとても楽しい月でした。